

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 羽島高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月30日(木) 13:00~14:30
- 3 開催場所 羽島高等学校小会議室
- 4 参加者

会長	兼松 博之	中部学院大学専任講師
副会長	大竹 恵子	国際ソロプチミスト羽島会長
委員	岡部 綾乃	本校PTA副会長
	住奥 豊広	岐阜羽島警察署竹鼻交番所長
	舛本千佳子	羽島の未来を築く会理事長
	渡辺 憲治	羽島商工会議所専務理事兼事務局長
	森山 健	竹鼻中学校長(欠席)
	渡邊 丈展	本校同窓会長(欠席)
学校側	下野 宗紀	校長
	柴田 祐一	教頭
	中川 弘之	事務長
	中田 啓士	教務主任
	浦部 陽	進路指導部長
	野中かおり	生徒指導部長
	仙石 幸大	総合的な探究の学び担当

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長が挨拶と学校運営協議会についての説明を行った。
- (2) 協議会の会長が兼松様に、副会長が大竹様に決まった。
- (3) 令和6年度スクールポリシーと学校経営計画の説明を行った。
- (4) 学校概要説明と教育指導の重点の説明を教務部、進路指導部、生徒指導部の順に行った。
意見1: 生徒指導の問題に関して、生徒の主体的な動きや意識の変化はみられるのか。
⇒ 文化祭でのスマホ使用について、生徒会が使用ルールの策定、学校への交渉、全校生徒への呼びかけなど生徒の主体的な動きがみられた。
意見2: 課題研究で行っている「イタセンパラの保護活動」について、市内の小学校で環境教育の一環として発表しに来てほしい。
- (5) 総合的な探究の学びについて説明を行った。
- (6) 本校への意見、提言等
意見1: スクールポリシーに従って指導していくと画一的になりがちであるが、ユニバーサルデザインを授業に取り入れるなど、生徒がインプットしやすい配慮がされている

ことが分かった。さらに生徒の自発的なアウトプットを見逃さないきめ細かい指導がされており継続してほしい。

意見2：Sクラブの部員が増え、地域に認められる経験をすること、大人に認められ褒められることで喜びを感じ、生徒が成長していることが分かった。何かをしたいやりたいというアウトプットの意欲が、学びの意欲につながり、これが生活の意欲につながると考える。Sクラブの活動を応援したい。

意見3：来校するたびに生徒からの元気な挨拶があり、好感が持てる。文化祭にお手伝いで参加するのを今から楽しみにしている。

意見4：総合的な探究の学びでは「インスパイアリング」ICTを活用した新しい取り組みが行われ、とても楽しそうに感じた。小中学校で行っている「あいさつ運動」が高校でも行われており、是非続けていただきたい。

意見5：自転車通学者のヘルメット着用率を100%目指して指導していただきたい。努力義務ではあるが、「自分の身を守るため」と考えてもらいたい。また、駅周辺での無施錠自転車の盗難が急増している。施錠確認し、盗難防止に努めてほしい。

意見6：竹鼻まつりでの高校生ボランティアの活躍は大変好評であった。働き方改革が叫ばれる中で、休日に引率していただく先生方には申し訳ないが、今後も協力願いたい。

意見7：吹奏楽部の活躍など学校としての特徴が出てきたところで、その特徴を外部にもっとアピールし、先生方も大学や専門学校など多様な団体と交流することで、さらに生徒の活躍の場を広げていただきたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して承認が得られた。
- ・本校の教育活動を高く評価していただける意見が多くいただけた。
- ・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしていきたい。